

2025/3期 決算説明資料

The OBS Way

～ *Creating the future with new value* ～

2025年5月13日

株式会社オービーシステム

東証スタンダード市場:5576

1 | 会社概要

2 | 2025/3期 決算概要

3 | 2026/3期 業績予想

4 | 中期経営計画の進捗状況

The OBS Way
～ Creating the future with new value ～

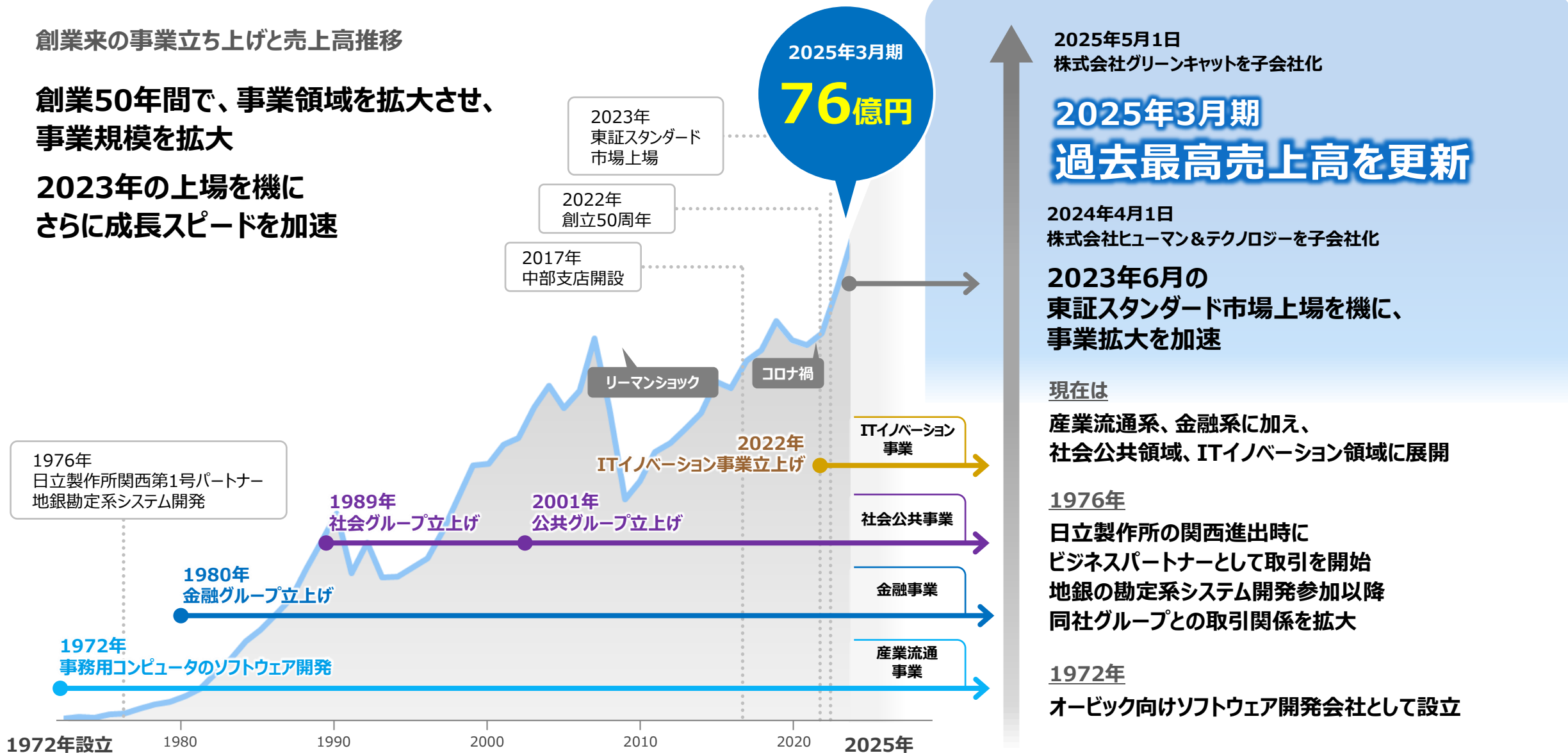
| APPENDIX

1. 会社概要（当社の歩みと特徴）

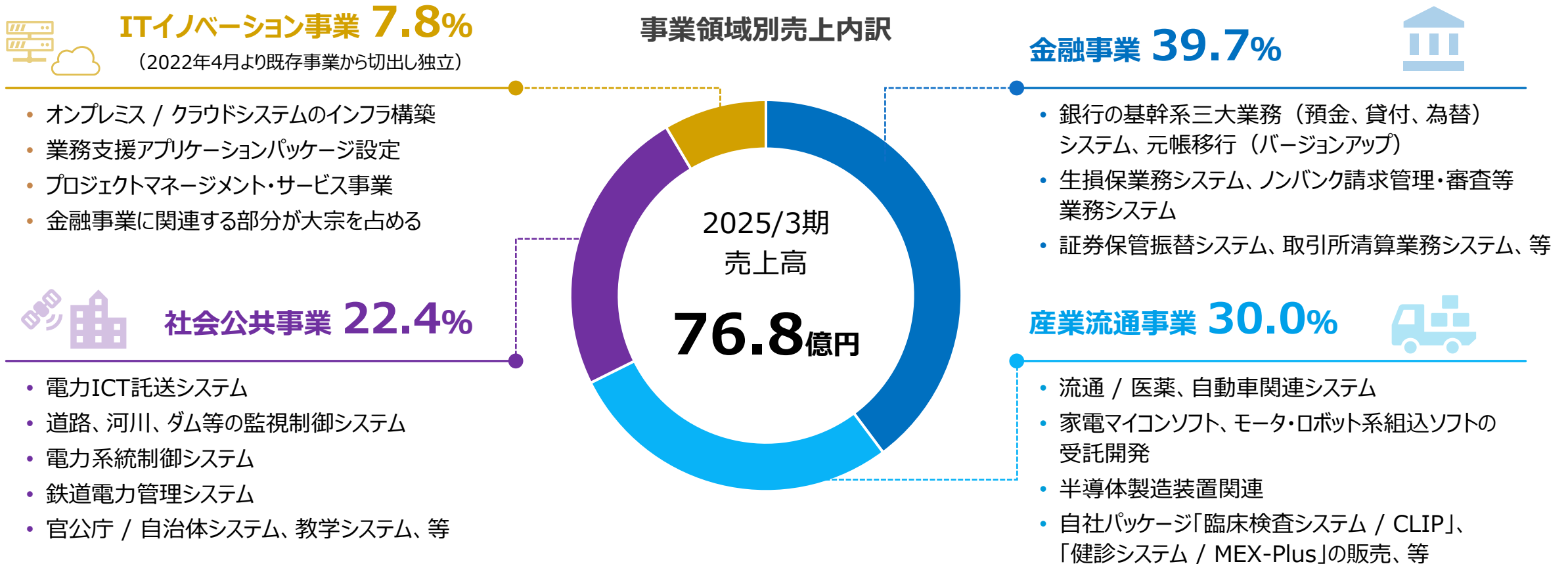
創業来の事業立ち上げと売上高推移

創業50年間で、事業領域を拡大させ、
事業規模を拡大

2023年の上場を機に
さらに成長スピードを加速

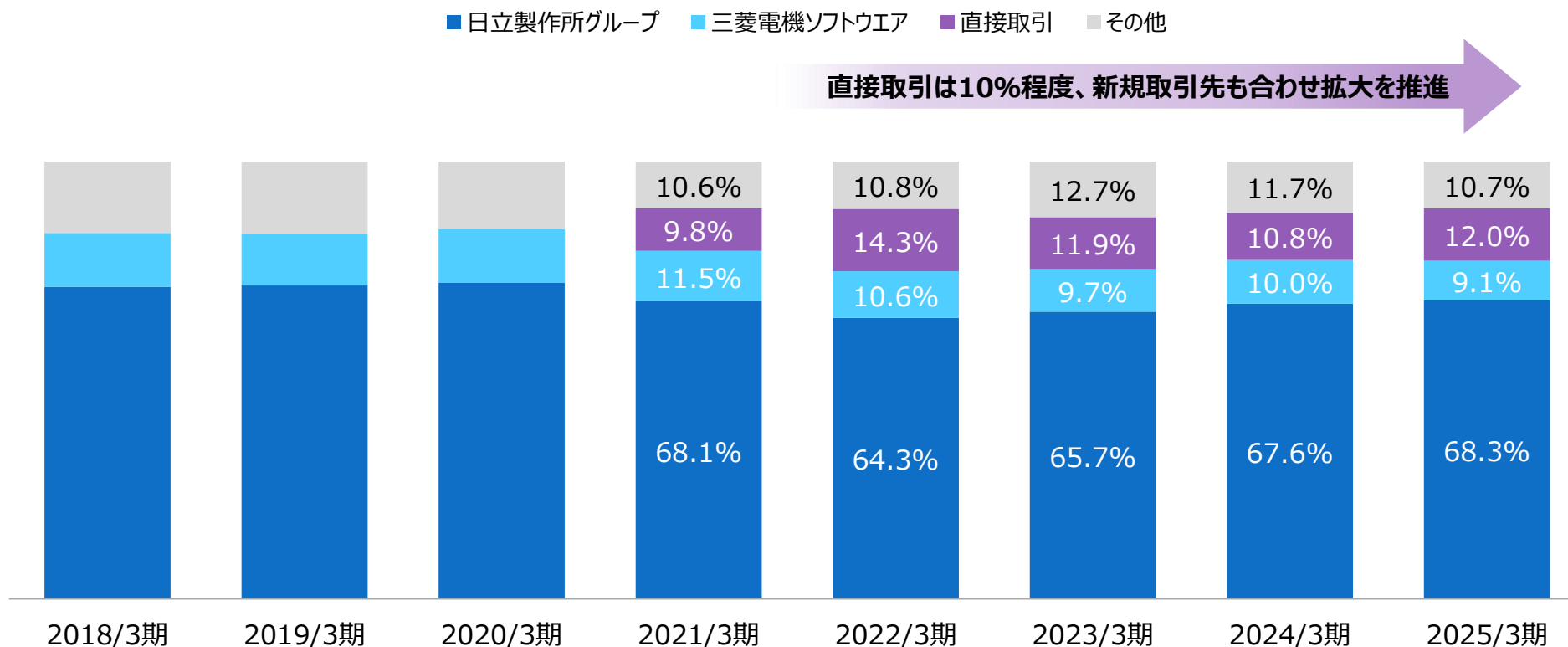


- システムインテグレーションサービスの提供を主たる事業とする単一セグメント
- 事業戦略上、「金融」、「産業流通」、「社会公共」、「ITイノベーション」の4つのサービスラインに区分



- 日本を代表する企業との安定的な取引基盤を長期にわたり有している
- 日立製作所グループ向け売上高はおよそ7割弱、直近の売上比率はほぼ横ばいで、三菱電機グループ向けを合わせ売上高の約8割がこの2グループ向けという構造に変化なし
- エンドユーザーとの直接取引が全社売上に占める割合は約10%。新規取引先開拓を合わせ引続き拡大を図っていく

顧客別売上高の推移



2. 2025/3期 決算概要

- 売上高は前期比11.4%の増収となり、売上総利益も19.4%増益。純利益は9.9%増益
- 新卒採用、連結に伴う費用の増加により、営業利益は計画に及ばず
- 当期純利益は、有価証券売却の特別利益などにより当初計画値を達成

	25/3期(連結)	前期比	25/3期通期見通し(連結)	見通し比較
売上高	76.8億円	+ 11.4%	75.6億円	101.6%
売上総利益	14.4億円	+ 19.4%	14.0億円	103.0%
営業利益	5.6億円	△4.8%	6.0億円	93.7%
経常利益	6.1億円	△3.3%	6.3億円	96.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4.8億円	+ 9.9%	4.8億円	100.9%
EPS	210.6円	+ 9.1%	208.3円	101.1%

※当社は2024年4月にヒューマン＆テクノロジー社を完全子会社化したことで、2025年3月期より連結決算に移行し、前期比較は2024年3月期の単体数値との比較
※グリーンキャット社のM&Aによる株式取得は5月、業績は2026/3期から反映

- 2025/3期より連結決算に移行
- 旺盛なシステム開発需要の継続、単価上昇により売上高が大きく伸長（+11%）
- 増収効果により、売上総利益は、19.4%増益。粗利率は、18.9%へ1.3pp上昇
- 新卒採用の倍増、研修期間の延長、連結に伴うM&A関連費用（74百万円）、のれん等の償却費（43百万円）などで販管費が4割超増加し営業利益、経常利益は、僅少であるものの減少
- 有価証券売却益もあり純利益では増益を確保

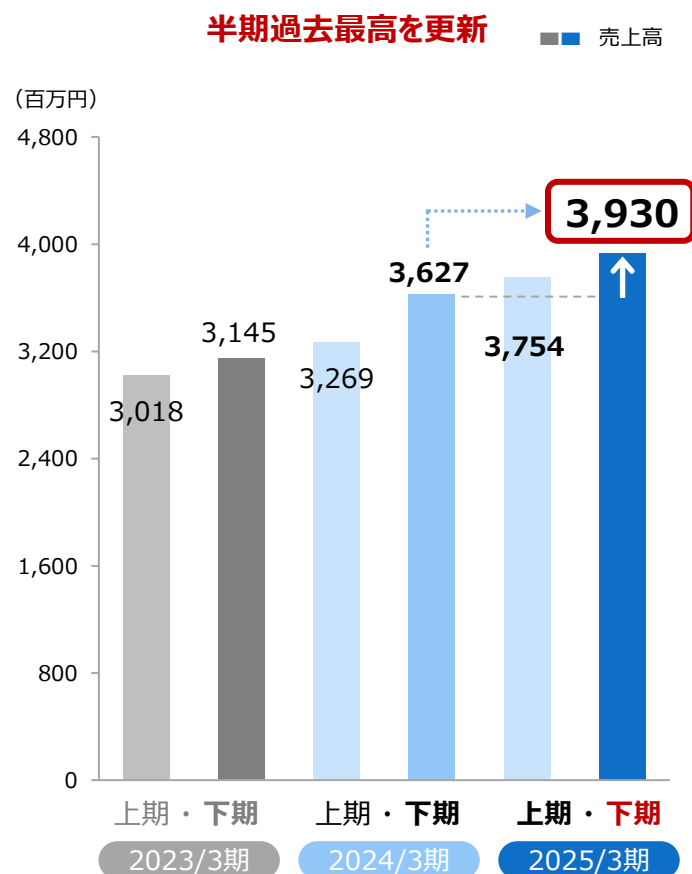
(百万円)	2023/3期 (単体)	2024/3期 (単体)	2025/3期（連結）				
			累計実績	前期差	前期比	通期見通し	見通し比較
売上高	6,163	6,896	7,684	+787	+11.4%	7,562	101.6%
売上総利益	1,032	1,213	1,448	+235	+19.4%	1,406	103.0%
粗利益率	16.7%	17.6%	18.9%	+1.3pp	－	18.6%	－
販管費	530	622	886	+263	+42.4%	806	109.9%
営業利益	502	591	562	△28	△4.8%	600	93.7%
営業利益率	8.1%	8.6%	7.3%	△1.2Pp	－	7.9%	－
経常利益	517	632	611	△21	△3.3%	636	96.0%
当期純利益/親会社株主に 帰属する当期純利益	497	441	485	+43	+9.9%	480	100.9%
EPS	239.5円	193.0円	210.6円	+17.6円	+9.1%	208.3円	101.1%

※当社は2024年4月にヒューマン＆テクノロジー社を完全子会社化したことで、2025年3月期より連結決算に移行し、前期比較は2024年3月期の単体数値との比較
※グリーンキャット社のM&Aによる株式取得は5月1日、業績は2026/3期2Qから反映

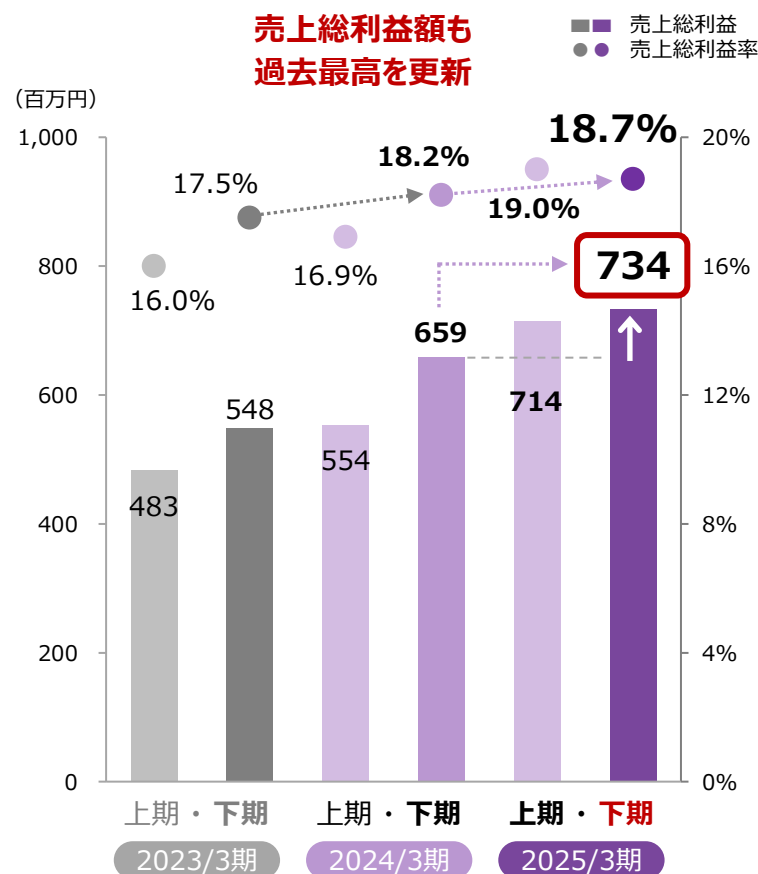
季節要因＜半期ごとの業績推移＞

- 売上高は順調に推移し、売上高、売上総利益とも半期毎で過去最高を更新
- 新卒採用の倍増、連結に伴うM&A関連費用、のれん償却などにより販管費が大幅に増加し営業利益率は低下
- 販管費の増加については、中期経営計画に基づく基盤拡充のための先行投資として評価

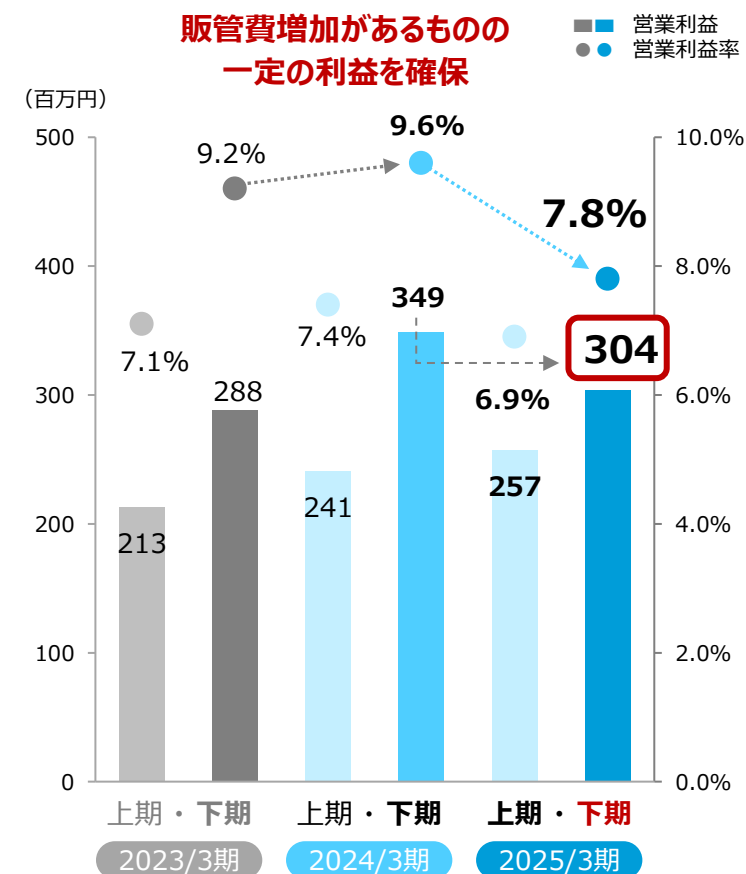
半期毎売上高の推移



売上総利益及び同利益率の推移

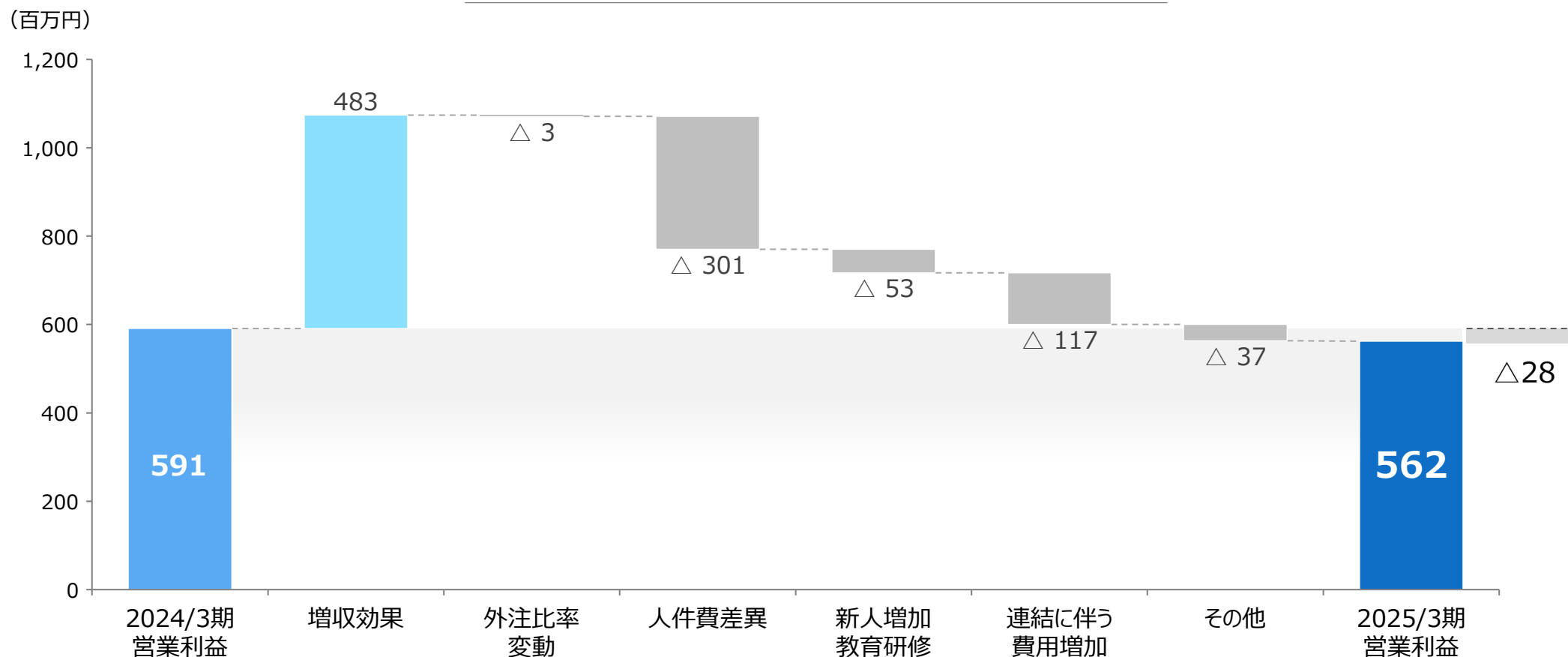


営業利益及び同利益率の推移



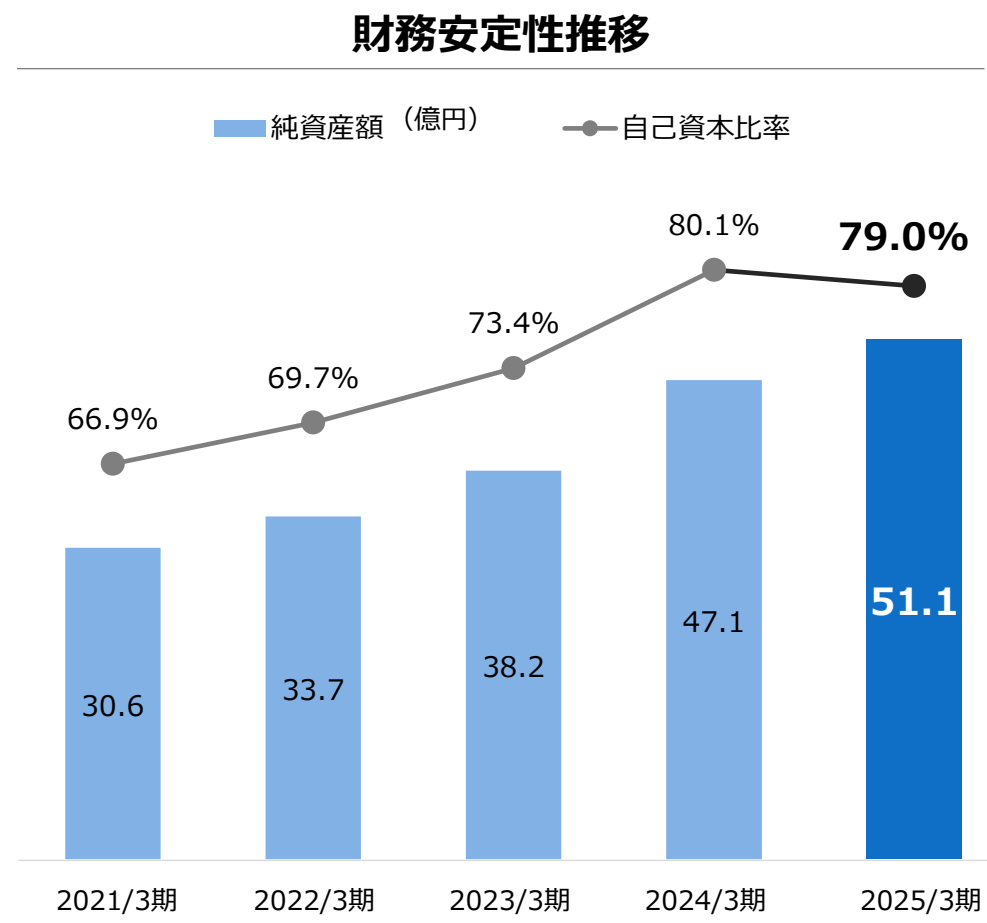
- 売上増加に伴う増収効果があったものの、新卒採用倍増、連結決算移行により販管費が大幅に増加
- グリーンキャット社の株式取得に伴うデューデリジェンス費用の計上もあり、営業利益は若干の減額

2025/3期営業利益 増減要因分析



- 順調に業績を伸ばし、純資産は4億円増加。自己資本比率は約8割と高水準を維持
- ヒューマン&テクノロジー社を子会社化したことで手元資金は減少したものの、まだ高い流動性を維持
有利子負債残高もゼロであり、盤石な財務安全性を確保
- 政策保有株式は縮減する方針で売却を進める一方、安定的な資金運用も実施

(百万円)	2023/3期	2024/3期	2025/3期	前期比増減
流動資産	4,402	4,121	3,937	△184
現預金	3,389	2,905	2,638	△267
売掛債権	939	1,100	1,214	+114
棚卸資産	29	21	16	△4
固定資産	816	1,757	2,534	+776
投資有価証券	509	1,577	2,011	+434
総資産	5,219	5,878	6,471	+592
負債	1,389	1,167	1,357	+190
買入債務	216	271	268	△3
純資産	3,829	4,711	5,113	+402
負債及び純資産	5,219	5,878	6,471	+592
自己資本比率	73.4%	80.1%	79.0%	

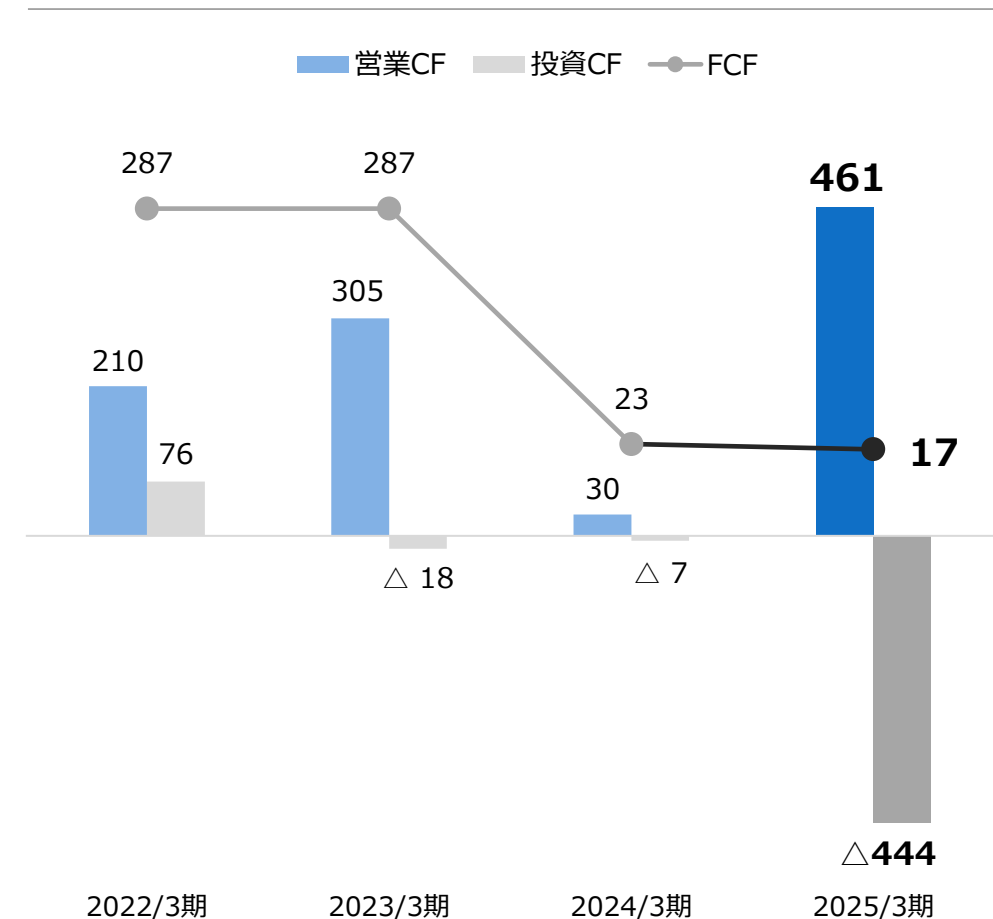


- 営業CFは2024/3期は特殊要因があったが、2025/3期は順調に利益を計上し増加
- 投資CFはM&Aによる子会社株式取得のため大幅減少

(百万円)	2023/3期	2024/3期	2025/3期
営業CF	305	30	461
税前当期利益	517	632	695
減価償却費	12	14	34
債権債務増減	△24	△57	△ 91
棚卸資産増減	△10	7	4
役員退職慰労金	—	△500	—
投資CF	△18	△7	△ 444
固定資産取得	△7	△6	△ 30
子会社株式取得	—	—	△ 407
保険積立金解約収入	—	100	—
FCF	287	23	17
財務CF	△106	92	△ 184
株式発行収入	—	231	—
自己株式売却・取得	—	59	—
配当金支払額	△103	△174	△ 184
現金及び現金同等物増減額	180	116	△ 167

- ・ FCF=営業CF+投資CF で算出
- ・ 株式取得はヒューマン&テクノロジー社、グリーンキャット株取得は2026/3期に実施

キャッシュフローの推移



3. 2026/3期 業績予想

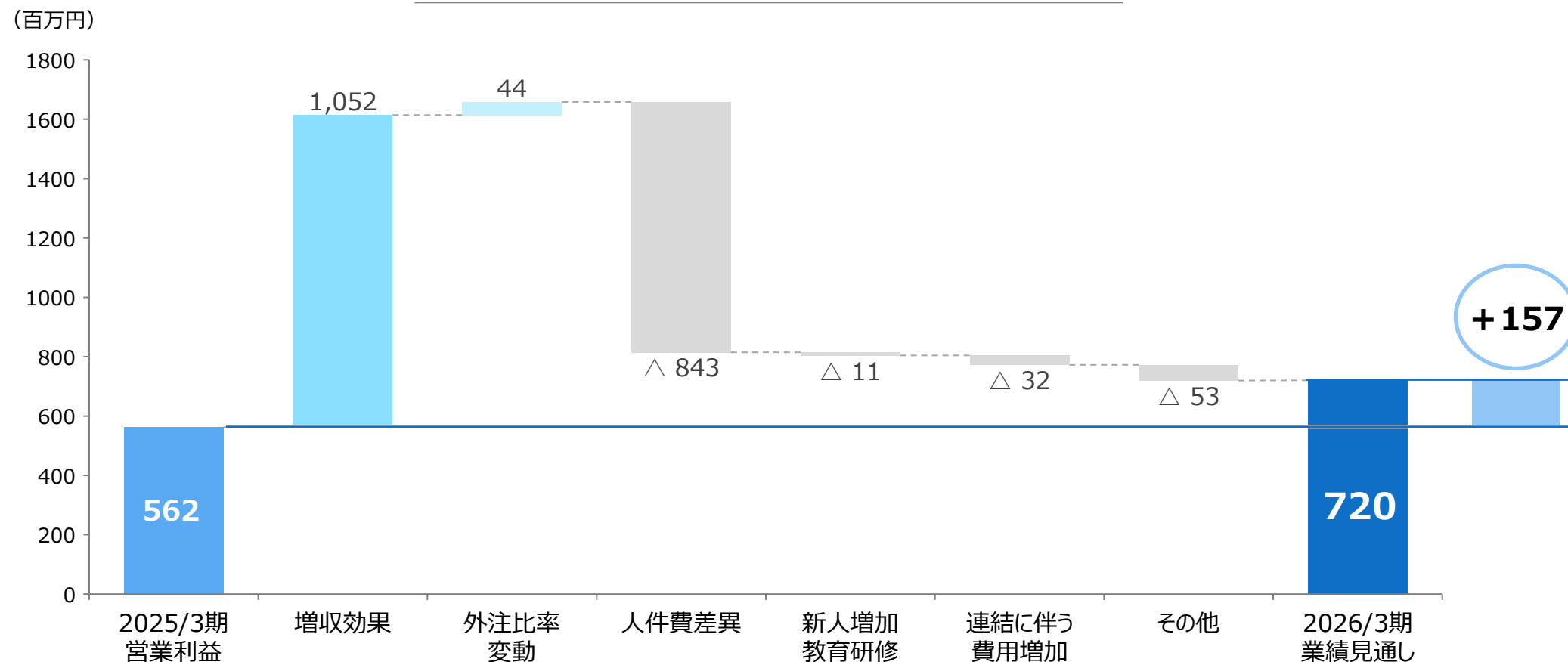
- 中期経営計画に沿って、25/3期にヒューマン&テクノロジー社を、26/3期にはグリーンキャット社を連結に加えることで、着実に業績を伸長する計画
- クラウド化など旺盛なシステム投資需要の継続が見込まれ、人員増強での対応や連結拡大による顧客の多様化、シナジー効果などにより、前期比で約22%の増収計画
- 外注単価、人件費などの上昇に加え、将来に向けた新卒採用の大幅増員と教育・研修費用の増加によりコストが先行するものの、大幅な増収により、前期比28%の営業増益を見込む

(百万円)	2025/3期 (実績)	2026/3期 (業績見通し)	増加額	増加率
売上高	7,684	9,400	+1,715	+ 22.3%
売上総利益	1,448	1,825	+376	+ 26.0%
営業利益	562	720	+157	+ 28.0%
経常利益	611	767	+155	+ 25.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	485	590	+104	+ 21.6%
EPS (円)	210.6	254.3	+43.7	+ 20.7%

※ 2026/3期よりGC社を連結しますが、決算期の関係から初年度は9か月分の業績のみの繁栄となります。

- グリーンキャット社子会社化による事業規模拡大で売上増加を見込むものの、新卒採用等による人件費の大幅増加や連結決算移行に伴い、販管費の大幅増加を予想
- 販管費増加を増収効果で補い、営業利益は28%増加する計画

2026/3期営業利益 増減要因分析



配当金（1株）

- 2025年3月期：当初計画から5円増額し、年間80円。配当性向は38%へ上昇
- 2026年3月期：20円増配し年間100円を計画。配当性向は、39.3%へ上昇
- 早期に配当性向40%以上へ引上げ、業績や財務状況、投資計画の状況を考慮し、更に利益を還元していく方針

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期（予想）		
					年間	中間	期末
一株当たり配当額	50円	50円	70円 (30円)	80円 (40円)	100円	50円	50円
うち、記念配	－	－	10円 (5円)	－	－	－	－
EPS*1	163.0円	239.5円	193.0円	210.6円	254.3円	－	－
配当性向	30.7%	20.9%	36.3%	38.0%	39.3%	－	－

※1：EPSは2022年11月18日の株式分割（普通株式1株を20株に）が2022/3期首に実施されたと仮定して計算
※2：2024/3期、2025/3期の下段括弧は中間配当金額を内書き

4. 中期経営計画（連結）の進捗状況

- これまでの事業基盤を活かしつつ、
新たなビジネステーマへの挑戦を行いさらなる成長を実現
→人材と技術力を強化し、社会課題解決と自社成長を目指す
- 当社の取引先の多くで社会イノベーションへの取り組みが進んでおり、これらへの参加を通じて
持続的社会的な実現へ貢献を図っていく

持続的成長を目指す

2027/3期 連結経営目標

売上成長

100億

利益目標

営業利益率10%
(売上総利益率20%)

ROE

13%



社会課題解決への貢献

これまでの事業基盤の
一層の成長

体制の強化
技術力の強化

新たなビジネステーマへの挑戦

株式会社
オービーシステム

社会ニーズを最前線で解決するシステムインテグレーター

日本の社会インフラを支える企業

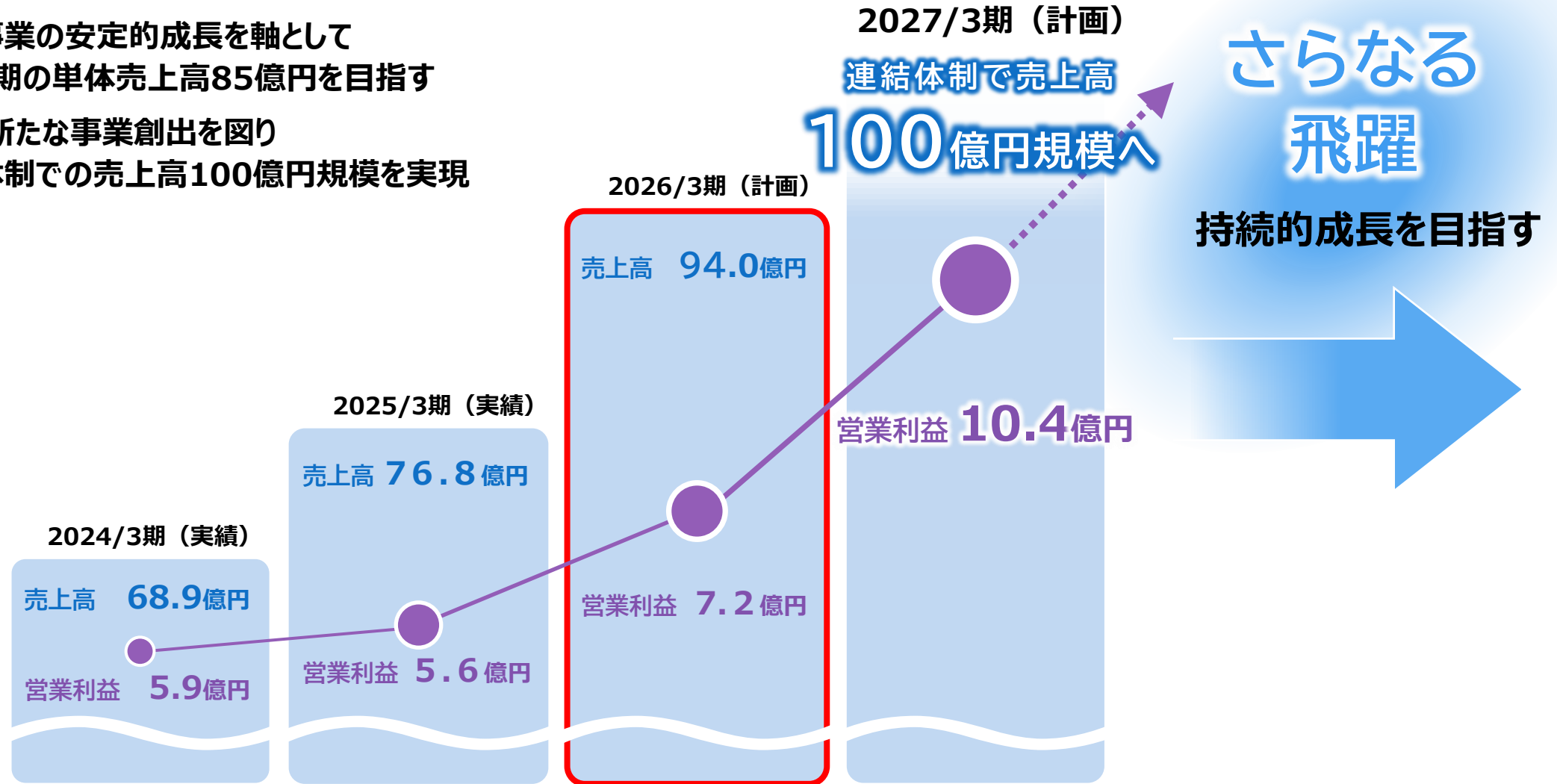
金融

社会公共

産業流通

連結中期経営計画の数値計画（～2027/3期）

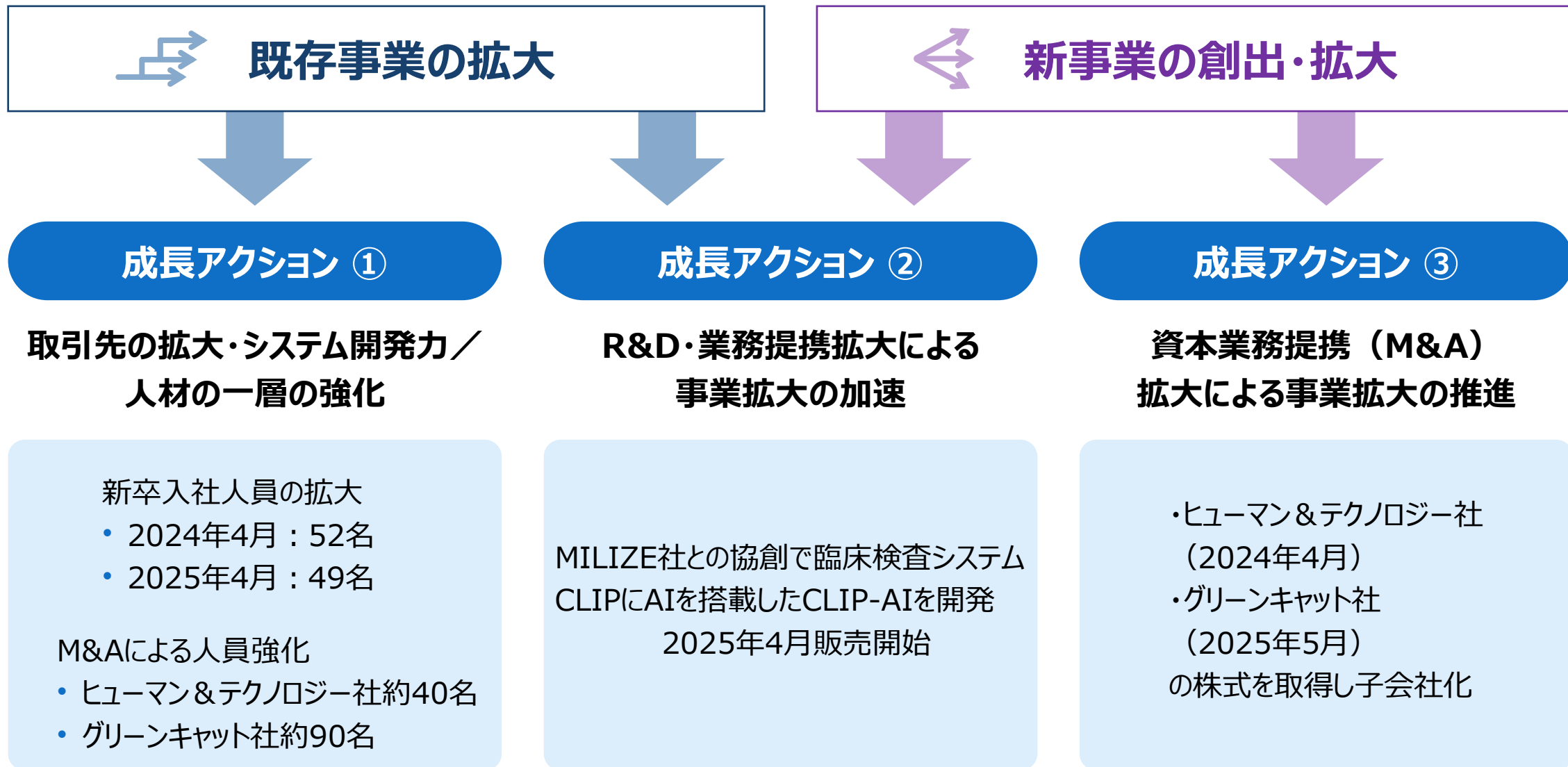
- 既存事業の安定的成長を軸として
27/3期の単体売上高85億円を目指す
- さらに新たな事業創出を図り
連結体制での売上高100億円規模を実現



- 連結中期経営計画の数値目標（～27/3期）
- 2024年4月1日にヒューマン＆テクノロジー社、2025年5月1日にグリーンキャット社の全株式を取得し、中期経営計画達成に向けた体制を整備

		連結経営開始 →								
	24/3期 (単体)	25/3期 (連結)			26/3期 (連結)		27/3期 (連結)		24/3期・27/3期の比較	
(億円)	実績	予想	実績	前期比	見通し	前期比	予想	前期比	額	24/3期比
売上高	68.9	75.6	76.8	111%	94.0	122%	100.0	106%	31.1	145%
営業利益	5.9	6.0	5.6	95%	7.2	128%	10.4	144%	4.5	176%
経常利益	6.3	6.3	6.1	97%	7.6	125%	10.9	142%	4.6	173%
当期純利益	4.4	4.8	4.8	110%	5.9	122%	7.6	129%	3.2	173%

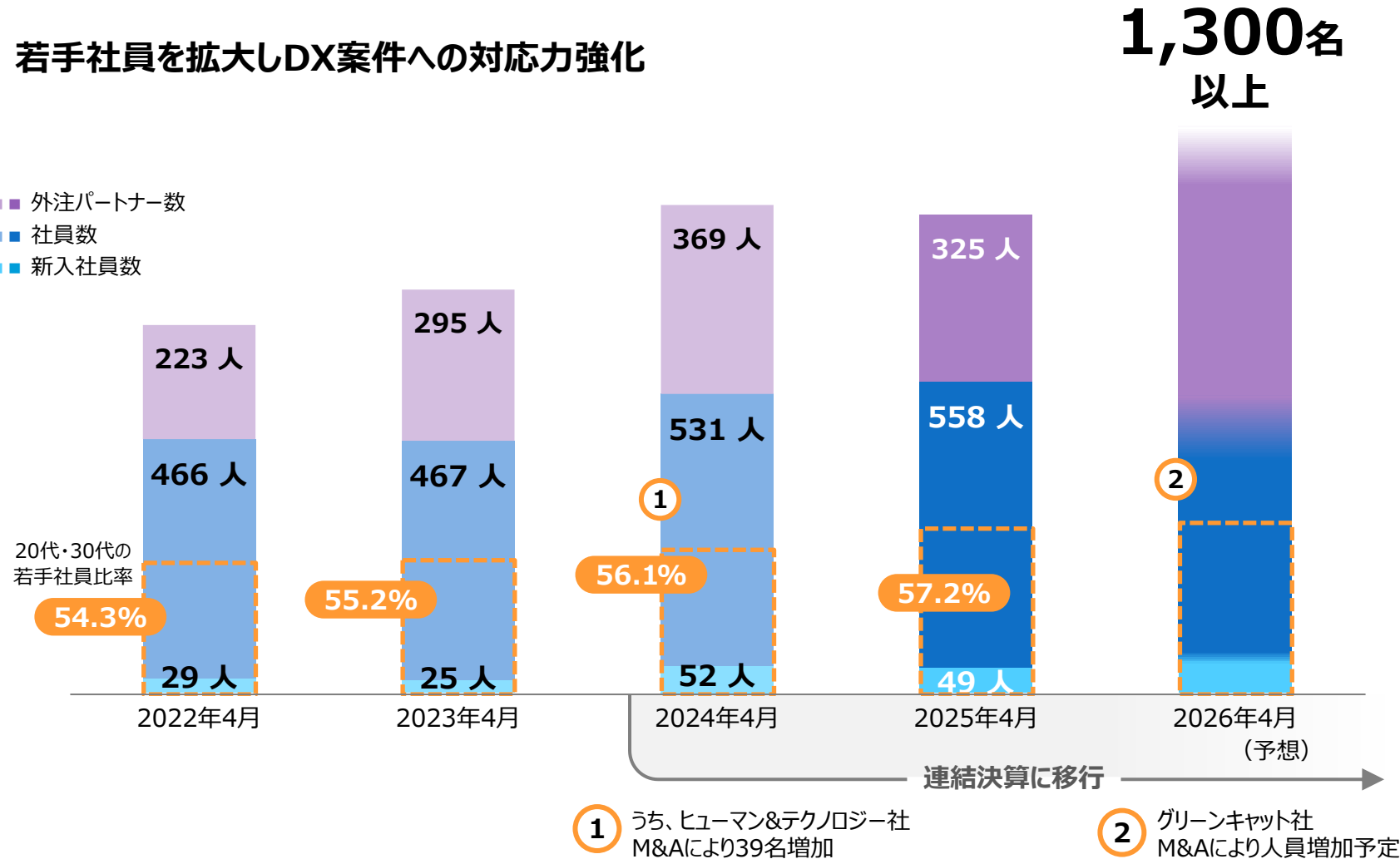
※ 当社は政策保有株式を縮減する方針であり、相場環境を睨みながら継続的な売却を検討しております。



成長アクション① 取引先の拡大・システム開発力／人材の一層の強化

- グループ連結での人材の強化のため採用拡大を継続
 - ・ 2024年4月新卒52名採用
 - ・ 2025年4月新卒49名採用
- 若手社員を拡大しDX案件への対応力強化

■ 外注パートナー数
■ 社員数
■ 新入社員数



社員拡大に併せて
**外注パートナー
拡大も推進**

社員開発体制の
強化を
継続実施

社員の半数以上を占める
若手社員による
**イノベティブな
事業推進**

自社のR&Dや専門性を有する企業との業務提携を拡大し、 自社ソリューションの創出・強化へ

マーケット 取引先の 課題

- ✓ 生成AIを活用した業務の効率化、高度化ニーズの拡大
- ✓ 生成AI対応案件増大と対応技術者の不足
- ✓ マイグレーション、モダナイゼーション案件の増加と作業効率化

Focus

- ✓ 生成AIを活用したソリューション構築能力の習得
- ✓ 生成AI対応案件獲得を可能とする人材、実績確保
- ✓ 生成AI等先進技術対応についての企業プレゼンス拡大



専門的な技術を保有する企業との業務提携



- 株式会社MILIZEと提携し、AI及び金融工学を活用した新しいサービスを提供すべく協業検討中
→ 生成AIを活用しての事業共創を図る前段階として、若手育成の共同推進を狙いとした活用事例の共同検討推進（共同でのWorkshop実施により今後の推進方式を具体化）
- 株式会社MILIZEと共同でAIを活用しての開発案件の具体化推進→今年度開発案件具体化を推進予定
- 株式会社コリアファステック社マイグレーションソリューションで協業
→ 日立製作所金融ソリューションでの本ソリューションのPOC推進中



自社のR&Dによる生成AIへの集中投資



- 自社医療パッケージ「CLIP」への生成AI適用により音声によるシステム操作をサポート
→ 3/19プレスリリース「AI機能搭載CLIP 4月1日より販売」

- 2027年3月期連結売上高100億円を目指し事業規模の拡大を図る狙いで、業務提携範囲の拡大を推進
- 2024年4月1日株式会社ヒューマン＆テクノロジーとの資本業務提携（子会社化）を実施
- 2025年5月1日株式会社グリーンキャットとの資本業務提携（子会社化）を実施

資本業務提携（M&A）の狙い

補完すべき機能・資源を短期で補い、
事業拡大のスピードを加速



中期経営計画達成へ向け

連結売上高100億円

目指してのM&A活動強化

主なターゲット

- 自社を補完するスキルの獲得
- 自社にない特長を持った技術の獲得
- 自社にない特長を持った商材・ソリューションの獲得
- 自社の成長に寄与する取引先の獲得

推進状況

- 2024年4月1日株式会社ヒューマン＆テクノロジーとの資本業務提携開始
- 2025年5月1日株式会社グリーンキャットとの資本業務提携開始

- 2025年3月24日に(株)グリーンキャット社との資本業務提携契約に合意
- 2025年5月1日にクロージング

概要

会社名	株式会社グリーンキャット
設立	1984年8月
所在地	東京都千代田区麹町4-3-3
代表取締役社長	大橋 修
資本金	1,434.2万円
社員	91名、外注パートナー約70名
売上	13億、営業利益7千万（2024/4期）
事業内容	BIPROGYを始めとした大手上場企業を中心に、金融系に強みを持つSI、ソフト開発会社

特長



- BIPROGY（1986年より取引）が売り上げ全体の81%を占める
- 金融系対応が売上の69%、流通16%、公共14%

主な対応システム



- 有価証券管理システム
- 日銀即時決済システム（RTGS）
- 円貨建て債権管理システム
- 与信管理システム etc

今後の
運営



- ✓ 5月1日クロージングにてOBS子会社化スタート
- ✓ 1年程度の日程感でPMI（融合化）活動実施
- ✓ OBSとグリーンキャット社とのシナジー検討を推進

既存事業を着実に伸長させ 強固な経営基盤を築く

連結体制での売上高100億円規模の実現のため、
連結中期経営計画を策定

売上高
76.8億円
売上総利益率
18.9%
営業利益率
7.3%
ROE
9.9%

▲
2025/3期



27/3期の
目指す姿

連結売上高
100億円
売上総利益率
20%以上
営業利益率
10%以上
ROE
13%以上

▲
2027/3期

THE OBS Way

Creating the future with new values

～ 新たな価値で未来を創る ～

**Purpose
in life**

生きがい

1. 感謝の心

今ある自分に感謝し、
働く喜び、生き甲斐を持とう

**Self-
development**

成長

2. 人格向上の心

仕事を通じて自己啓発し、
人格向上を図ろう

**Peaceful
living**

幸福

3. 生活向上の心

豊かな安定した生活を
目指そう

**Sustainable
society**

持続的成長

4. 企業の心

デジタル・IT関連などの
情報システム技術、サービスの
提供を通じて持続可能な社会の
実現に貢献しよう

中期経営計画の活動を通じて、自社の成長のみならず社会課題の解決へ貢献

テーマ	目指すべきゴール	施策
人材育成  	計画的な人材強化でデジタルによる社会課題への対応を図り、レジリエントな社会の実現に貢献します	● 教育投資を強化し、人材の確保・育成を実施
気候変動への対応 	温室効果ガス排出量の削減、廃棄物の削減、ペーパーレス化を目指します	● オフィスの温室効果ガス排出量を算定、把握 ● 各種書類の電子化を進め、オンライン会議を推進し、可能な限りペーパーレス化を図る
人権・ダイバーシティ   	事業を支える人材一人ひとりの価値観や個性を認め、多様性を尊重し、男女共同参画の推進等、社員一人ひとりが自分の能力や適性を存分に活かして働ける環境を目指します	● 定年再雇用、キャリア採用の常時実施 ● 在宅勤務 ● 内部通報制度
健康経営 	従業員が心身ともに健康で明るく生き生きと働ける環境の維持向上を目指します	● 仕事と育児の両立支援、女性のキャリア形成支援 ● 健康経営優良法人2025（大規模法人部門）
ビジネスパートナー 	これまでの取引先との連携を深化、新たなパートナー連携の拡大を目指します	● パートナシップ構築宣言
品質セキュリティ 	社会から持続的に信頼される企業を目指します	● プライバシーマーク（個人情報セキュリティ） ● 情報セキュリティマネジメントシステム ● 品質マネジメントシステム
コーポレートガバナンス 	事業活動を継続的に成長させ、社会から持続的に信頼される企業を目指します	● 企業経営の公平性・透明性の確保

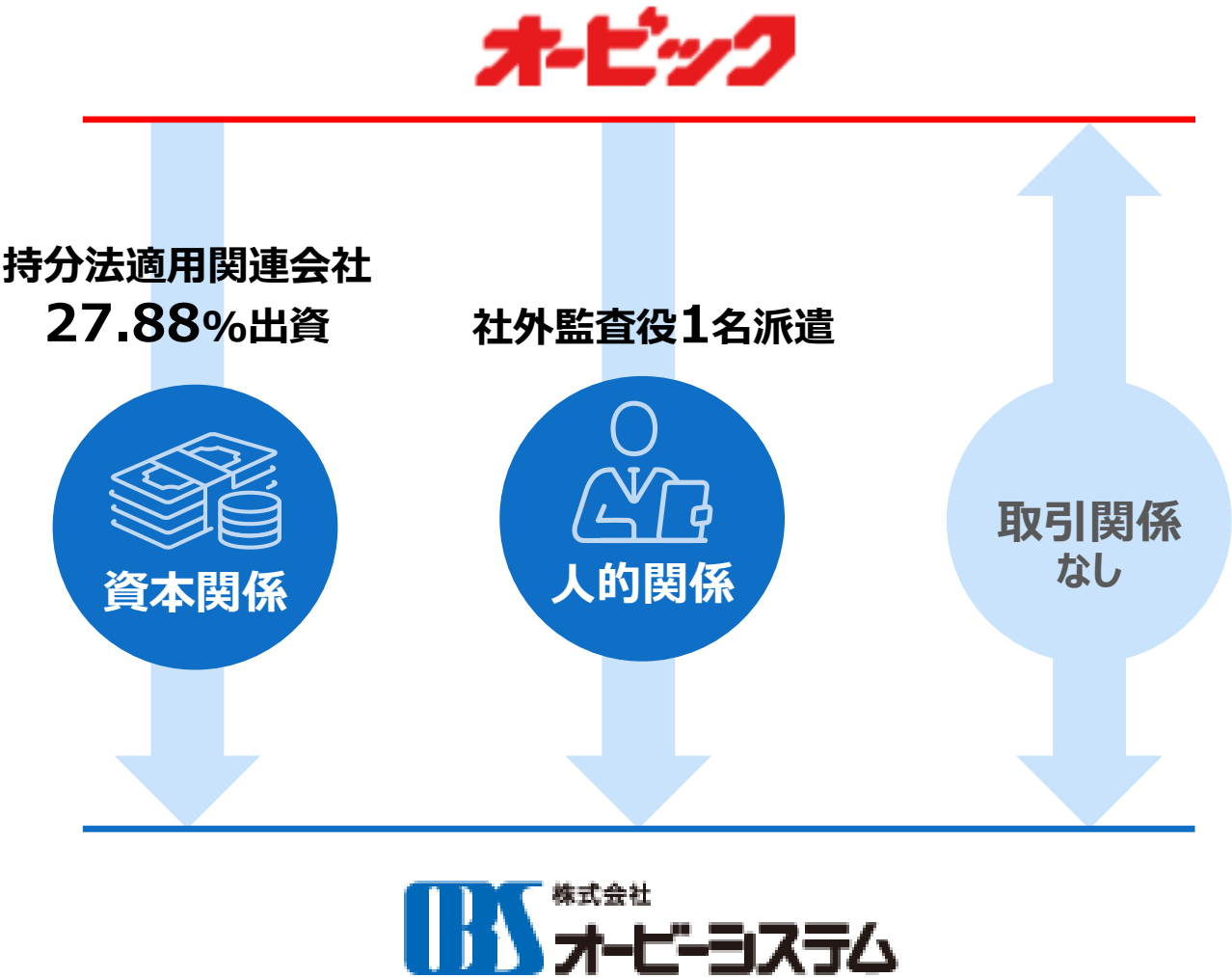
持続的
事業成長



APPENDIX

社名	株式会社オービーシステム	
代表者	代表取締役社長 豊田 利雄	
設立	1972年8月	
本社所在地	大阪府中央区平野町2-3-7 アーバンエース北浜ビル	
資本金	1.9億円（2023年9月末）	
事業内容	システムインテグレーションサービス	
売上規模	76.8億円（2025/3期）	
従業員数	513名（2025年3月末）	
総資産	64.7億円（2025年3月末）	
役員構成	代表取締役社長 豊田 利雄 取締役 杉田 欣哉 取締役 上村 忠嗣 取締役 杉本 繁治 取締役 長谷川 篤 社外取締役 白石 徹 社外取締役 堀野 桂子 社外監査役（常勤） 渡辺 天山 社外監査役 阿南 友則 社外監査役 佐々木 健次 執行役員 山口 雅也 執行役員 和田 三紀夫 執行役員 中平 幹夫 執行役員 鈴木 信之	
主な取引先	日立製作所 日立ソリューションズ 三菱電機ソフトウェア 他	

株式会社オービックとの関係



決算年月		2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月 (連結)
売上高	千円	6,363,271	6,069,967	5,992,188	6,163,836	6,896,830	7,684,716
経常利益	千円	477,810	403,061	482,609	517,413	632,479	611,333
当期純利益/ 親会社株主に帰属する純利益	千円	320,621	275,877	338,551	497,479	441,579	485,246
資本金	千円	74,750	74,750	74,750	74,750	190,380	190,380
発行済株式総数	株	111,000	111,000	111,000	2,220,000	2,367,000	2,367,000
純資産額	千円	2,735,460	3,062,504	3,371,395	3,829,308	4,711,642	5,113,811
総資産額	千円	4,382,773	4,580,623	4,837,312	5,219,193	5,878,942	6,471,233
1株当たり純資産額	円	26,818.24	1,474.48	1,623.20	1,843.67	2,046.76	2,218.09
1株当たり当期純利益	円	3,143.34	135.05	163.00	239.52	192.99	210.57
1株当たり配当額	円	600.00	800.00	1,000.00	50.00	70.00	80.00
自己資本比率	%	62.4	66.9	69.7	73.4	80.1	79.0
自己資本利益率	%	12.4	9.5	10.5	13.8	10.3	9.9
配当性向	%	19.1	29.6	30.7	20.9	36.3	38.0
営業キャッシュフロー	千円	－	316,498	210,723	305,821	30,973	461,992
投資キャッシュフロー	千円	－	△345,740	76,346	△18,112	△7,245	△444,892
財務キャッシュフロー	千円	－	△33,450	△83,080	△106,850	92,681	△184,130
現金及び現金同等物の期末残高	千円	－	1,704,287	1,908,277	2,089,135	2,205,544	2,038,514
従業員数	名	389	414	440	443	448	513

(注) 当社は、2022年11月18日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
 当社は、2024年3月期より中間配当を実施しております。
 当社は、2025年3月期より連結決算を開始したため、2024年3月期までは単体決算の数値を、2025年3月期は連結決算の数値を記載しております。

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先

株式会社オービーシステム 東京本社
IR担当
TEL : 03-3471-9877 (代表)
E-mail : ir@obs.co.jp